

國際部

第十七回國際勞動會議の成績

八年一月十五日、第十七回國際勞動代表を左の如く日本勞動組合會議は決定した。

代表	日本勞動組合總聯合中央委員長	坂本孝三郎
顧問	官業勞動總同盟中央委員	阪口若松
顧問	日本製鐵勞動組合聯合會長	今岡與一
隨員	日本勞動組合總聯合中央委員	高山久藏

しかるに坂本勞動代表に隨行渡歐中であつた今岡顧問は、香港を去る二晝夜半の海上、西貢東方約百三十哩のところに於て瀆焉として長逝した。ために隨員たりし高山久藏を顧問に任命、壽府に向つたのである。

總會は六月八日より七月一日まで開かれ、本會議は前後を通じて二十六回、有料職業紹介所廢止の件を可決し、老廢及び遺族保險は六個の條約案と一個の勸告案を採擇

し、失業保險及び失業扶助に関する件、自動式板硝子工場に於ける休憩及び交替方法並に一週四十時間勞動制限採用の三件は第一次討議を終り、一九三四年に第二次討議をなすことに決定した。

その他坂本日本勞動代表提出にかゝる「建築勞動者の安全に関する決議」と總會に於て可決するところとなつた。

國際勞動組合大會に於て祝辭を述べ

八年七月三十一日、白耳義、ブラッセル市パレー・デ・ボザールに開かれた國際勞動組合大會に、坂本孝三郎氏出席、日本勞動組合會議を代表して祝辭演説をなした。

アジヤ勞動會議表現に奔走す

壽府滞留中には坂本、アリ、李の日印支三國勞動代表會合し、アジヤ勞動會議實現の打合せをなしたが、更に英國ロンドンで坂本氏は印度勞動者代表ジョーシ氏と